

第3回利府町震災復興計画策定委員会 開催結果

- 1 開催日時 平成23年10月4日（火）
15時10分から17時00分まで
- 2 開催場所 役場2階 第1・2会議室
- 3 出席委員数 11名

4 協議内容

(1) 利府町震災復興基本方針について

平成23年9月22日に利府町震災復興本部会議において決定した「利府町震災復興基本方針」について事務局より説明を行った。

(2) 第2回利府町震災復興計画策定委員会における御意見について

第2回利府町震災復興計画策定委員会において各委員よりいただいた御意見について町の考え方を説明し協議を行った。

《主な質疑事項・意見》

Q 今回の計画には地震による被害だけでなく、先日の台風被害による対策も盛り込むのか。

A 地震による地盤沈下により台風被害が拡大した面もあると考えている。原因を検討し、復興計画に反映させたい。

(3) 「利府町の復興まちづくり」及び「浜田・須賀地区の復興まちづくり」に関するアンケート調査結果について

8月10日から22日にかけて実施した住民意向調査について協議を行った。

- ・町内全域 3,000 世帯対象の意向調査1の回収率は42.8%。浜田・須賀地区全戸対象の意向調査2の回収率は74.9%。
- ・意向調査1については、防災機能、災害支援の強化・整備をのぞむ意見が多い。また、災害時の情報交流機能や医療の機能強化をのぞむ意見が多い。
- ・意向調査2について、居住意向は浜田地区で同じ状態での居住意向をのぞむ意見が51%、須賀地区で同じ状態での居住意向をのぞむ意見が56%となっている。移転をのぞむ意見は浜田・須賀地区ともに13%となっている。
- ・浜田・須賀地区の方は地区のまちづくりについて、防潮・防災機能の整備、

地盤の嵩上げ等を強くのぞむ意見が多くなっている。

《主な質疑事項・意見》

Q アンケート結果について、地元への説明会は行うことは考えているか。

A 地元との意見交換をさせていただき、その内容を反映し復興のパターンを決定していきたいと考えている。

Q 浜田・須賀地区のアンケート結果について、修繕をして住みたいとの意見が多いが、また震災があった場合に二度と被害を繰り返すことがないまちづくりをしていただきたい。

A 一番安全なのは、高台への移転だと思うが、現実として住民の方が今居住している場所に住み続けたいと考えることも理解できる。何らかの対策を取る必要があることも考えており、地元にお住まいの皆さんの意見を大事にしながらか検討を進めていきたい。

(4) (仮称) 利府町震災復興計画骨子(案)について

復興計画の骨子案について協議を行った。

- ・ 復旧・復興の方向性ごとに基本的な考え、課題、基本計画、復旧・再生から発展に向けたイメージ、主要な施策を整理している。
- ・ この内容をもとに、復興計画を作成していきたいと考えている。

《主な質疑事項・意見》

Q 浜田・須賀地区の復興の考え方として、住民の希望のように嵩上げをしてそこに住まわせてしまったらまた津波がきた場合同じことの繰り返しである。それを看過する形で委員会で済ませるわけにいかないのではないか。高台移転と職住分離を基本的な考えとして骨子の中に入れなければならないのではないか。

A (他委員からの意見)

アンケート結果は、住民の意向のとおりだと考えている。本震災を1,000年に1度と考えれば土盛り程度でも住むことができると考える。漁業者については、効率を考えれば自宅が高台にあることは考えられない。国道・仙石線・東北本線があり大きな津波被害をまぬがれることができたので、この土地でも大丈夫ではないかという意見がアンケート結果なのではないかと考える。

(他委員からの意見)

防潮施設があれば、津波被害はまぬがれたのではないかと考える。防潮堤の設置をお願いしたい。また、店をやっている住民もおり、漁もやっている住民もいる。高台移転は考え方に無理があるとする。

(他委員からの意見)

地域や人の考え方に違いがあるものと思うが、最低限譲れないものは「生命は守る」ということであると思う。予算や住民負担を勘案しながら最終的にどのように対応するかを決定することとなるではないか。